

なぜ会いに行ってしまうのか？

出会い系サイトなど、ネットで知り合った人に会いに行き、トラブルに遭ってしまう事件がいろいろ報道されています。

そもそも、子ども達はなぜ「会いに行ってしまう」のでしょうか？

上田の情報教育を考える会では、12月2日の学習会でこの問題を取り上げました。出会い系サイトで被害に遭ってしまった中学生の女の子が出てくる教材ビデオを見た後、メンバーで話し合いました。

ビデオに出てくる女の子は、親から認めてもらえず、学校でもうわべだけの友達しかいません。自分を「みにくいアヒルの子」と呼び、ネットで知り合った人に会いに行った動機を「白鳥になりたかった」と語ります。

よく言われることですが、今の子ども達は自己評価が低く、「僕なんてダメだ」「どうせ私なんて」と思っている子が多いです。そんな子ども達が、ネットで優しい言葉をかけられて、「この人だったら私をわかってくれる」「この人に会いに行ったら新しい可能性があるかもしれない」と思ったら、会いに行ってしまうのです。

私達は、子ども達に対して「愛している」「あなたは大切な存在だ」という愛情あるメッセージを、ちゃんと口に出して伝えているでしょうか。「私は愛されてここにいる」実感を、子ども達に与えているでしょうか。携帯やネットの問題以前に、子どもとのいい関係作りがまず必要なのだと思います。

(事務局 斎藤史郎)

●上田の情報教育を考える会・第4回学習会 1月6日(水) 午後7時～ 塩田公民館にて

子どもと携帯やネットなどの問題について、毎月1回学習会を行っています。
皆さんぜひご参加ください。
(年会費¥1,000)

★お問い合わせは…
上田の情報教育を考える会
事務局 斎藤史郎
TEL/FAX 0268-25-7676
メール info@uedajk.net
ホームページ <http://uedajk.net>